

1 題材名 わかりやすく伝えよう

2 題材について

本学級に在籍している女子2名の児童は、3年間一緒に活動をしているので、お互いのことはある程度は理解している。しかし、相手の立場を思いやることが苦手であったり、物事を自己中心的に考えて行動してしまったりするところがある。また、自分の考えや気持ちを相手に伝えることが苦手で、初めから消極的であったり、うまく表現したり伝えたりすることができないために、友達とのトラブルが生じたり、情緒が不安定になり衝動的な行動に出てしまったりといった現状がある。

本題材では、ジェスチャーゲームやブロックの構成を言葉で伝える活動を通して、相手の視点に立ちながら、わかりやすく体の動きや言葉といった伝達手段で相手に伝える学習に取り組む。相手にわかりやすく伝えることは、仲間との関係を築いたり、コミュニケーションを行ったりする上でとても大切なことである。言語表現が苦手であったり、相手の視点に立つことが難しい本学級の児童にとっては、必要なスキルである。従って、ゲーム的な要素を取り入れ楽しく学習を進める中で、このスキルを身に付けさせていきたい。

指導にあたっては、まずはじめに普段から取り組んでいるジェスチャーゲームに取り組み、児童の意欲を高めるようにし、主な活動であるブロックの構成伝達活動につなげるようにする。ブロックの構成伝達では、事前にブロックの種類や位置、置き方などの言い方（伝え方）を教えておき、伝達活動に取り組むやすいようにする。活動中に相手の視点に立ってわかりやすく伝えられた時にはその都度声をかけ称賛することで、コミュニケーションの力を高められるようにしていきたい。逆に上手く伝えられない時には、伝え方のヒントカードを出したり、相手に質問するように促したりすることで、最後まで意欲的に取り組みながら伝達活動に取り組めるようにする。情緒的な面では、上手く伝えられないときにはイライラすることがあるということを事前に児童に伝え、イライラを認知し、自分でもコントロールするよう見通しをもたせるようにする。さらに、イライラした時の対処方法も教え、自己解決できる力を身に付けさせ、最後まで楽しく参加できるように励ましていきたい。

1時間の学習の中で、カードに書かれた言葉を体を使って伝えるジェスチャーによる伝達と、ブロックの構成を言葉で伝える伝達の2つの伝達活動を行う。2種類の伝達手段に取り組む中で、それぞれの伝達手段のよさと活動の楽しさを味わわせるとともにコミュニケーションすることの楽しさも実感させたい。

3 児童の実態と個別目標

	実 態	自立活動に関する目標
A児	個人情報配慮のため省略	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の視点に立ってわかりやすく動きや言葉で伝えることができる。 【6-(2)】</li> <li>○感情的にならないでB児と関わることができる。 【2-(2)】</li> <li>○ルールを守り楽しく最後まで伝達遊びに参加することができる。 【3-(4)】</li> </ul>
B児	個人情報配慮のため省略	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の視点に立ってわかりやすく動きや言葉で伝えることができる。 【6-(2)】</li> <li>○相手の気持ちを尊重したことばかけや対応ができる。 【6-(5)】</li> <li>○最後まで伝達遊びに取り組むことができる。 【3-(4)】</li> </ul>

4 指導計画と評価（3時間扱い・本時は2時間目）

月	学習内容・活動	評 価	
		A児	B児
5	3 わかりやすく伝えよう	・ルールを守って伝達遊びに取り組むことができる。	・最後まで伝達遊びに取り組むことができる。
6 本 時	3 わかりやすく伝えよう ・ジェスチャー  ・ブロックの構成伝達遊び（ブロックの数を増やし難易度を変えていく）	・相手のことを考えてわかりやすく伝えることができる。 ・感情的にならないで、安定した気持ちで、楽しく伝達遊びに取り組むことができる。	・相手の視点に立ってわかりやすく伝えることができる。 ・相手の気持ちを尊重しながら最後まで楽しく伝達遊びに取り組むことができる。

5 本時の指導

(1) 個別目標

- A：○相手のことを考えてわかりやすく伝えることができる。 【6－(2)】  
 ○自分の気持ちをコントロールしながら、感情的にならないで楽しく活動することができる。 【2－(2)】
- B：○相手の視点に立ってわかりやすい言葉で伝えることができる。 【6－(2)】  
 ○相手の気持ちを尊重したことばかけや対応をし、最後まで楽しく活動することができる。 【6－(5)】  
 【3－(4)】

(2) 準備・資料

レゴブロック（平面が正方形と長方形の赤・青・白・黄色・黒の5色）、ブロック伝達ヒントカード、声かけカード、イライラ解決法カード、ついでに、伝達結果表、ご褒美シール

(3) 展開

学習内容・活動	教師の指導・支援と評価（◎は評価 ☆自立活動に関する支援）		
	全 体	A	B
1 始めのあいさつをする。  ・カレンダーにシールを貼る。  2 本時の学習内容を知る。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">わかりやすく伝えよう。</div>  (2人で仲良く) ・ジェスチャーゲーム ・ブロック伝達ゲーム  3 ジェスチャーをする。	◎あいさつをしてこれから学習に取り組む心構えをつくる。  ・学習のめあてと学習内容を確認し、見通しをもって学習に取り組めるようにする。  ・一人3問ずつジェスチャーを行うことを伝える。 ・答えがわかったら必ず手を挙げて、指名されてから答	◎起立の号令をかけさせる。  ☆毎日行っているカレンダーへの出席シールを貼る活動を通して情緒の安定を図るようにし、その日のA児とB児の様子を観察する。 ☆2人で楽しく学習を進めるためには、ルールを守ることが大切であることを押さえる。  ☆相手がわかりやすいように伝えることが大切であることを伝える。また、二人で協力して成功を目指して頑張るように励ます。  ☆意欲的にジェスチャーに取り組んでる様子が見られたら称賛する。 ☆拗ねてる様子が見られたら頑張るように励ます。	◎視線を合わせきちんとした姿勢になってから礼をさせる。  ☆相手に合わせて最後まで伝達遊びに取り組むことを押さえる。  ☆一生懸命表現している様子が見られたら、称賛する。 ☆相手の関わりの中で拗ねてる様子が見られたら頑張るように励ます。

<p>4 ブロック伝達ゲームをする。 〈手順〉</p> <p>①間についててを立てて向かい合わせに座る。</p> <p>②伝える人がブロックで見本を作る。</p> <p>③伝える人が、作ったブロックの構成を言葉だけで伝える。</p> <p>④作る人は、構成を聞き同じ構成をブロックで組み立てる。</p> <p>⑤作る人が完成したら合っているか確かめる。 〈ルール〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉だけで伝える。</li> <li>・相手にわかりやすく伝える。</li> <li>・怒らない</li> <li>・楽しく</li> </ul>	<p>えることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同時に答えがわかり手が拳がった場合は、同時に答えてるようにする。</li> <li>・レゴ伝達ゲームの手順とルールを確認する。</li> <li>・伝える人と指示を聞いてブロックを作る人を交代でやることを伝える。</li> <li>・ジャンケンをして最初に伝える人を決める。</li> <li>・伝える人は、作る人の視点で丁寧にわかりやすく言葉だけで伝えるように指示する。</li> <li>・ついたりてを超えて覗き見をしないように話す。</li> <li>・うまく伝わらないときでも、落ち着いて怒らないで説明するように伝える。</li> <li>・伝える人と、作る人が協力して完成させるよう伝える。</li> <li>・うまく伝えられないときには伝え方ヒントカードを提示したり、相手に質問するように促したりする。</li> <li>・うまく伝わったら結果表に結果を記入し、ご褒美シーンをプレゼントする。</li> </ul>	<p>☆自己中心的な言動があった時には、相手のことも考えて楽しく活動するよう声かけをする。</p> <p>○離席して最後まで手順とルールを聞けないときには、席に座るよう声をかけもう一度手順とルールを説明する。</p> <p>☆自分がやりたい方を先にできないときでも、次にできることを伝え我慢するよう話す。</p> <p>☆ルールを守れないときには、みんなが楽しく遊ぶためにはルールを守らなくてはいけないことを再度伝える。</p> <p>☆B児にとってわかりやすい伝え方ができたときには褒める。</p> <p>☆うまく伝えられず、怒って説明し始めたときにはイライラ解決法カードを見せ、落ち着かせるようにする。</p> <p>☆うまく完成できたときには、お互いが相手のことを考えわかりやすく伝え、二人で協力して取り組んだ結果だということを伝え、二人の頑張りを褒める。</p> <p>◎相手のことを考えてわかりやすく伝えることができたか。 (行動観察) 【6-(2)】</p> <p>◎ルールを守り、落ち着いた気持ちで、楽しく伝達遊びをすることができたか。 (行動観察) 【2-(2)】 【3-(4)】</p>	<p>☆相手の頑張りを褒めるような言葉かけや相手に合わせた行動、相手を思いやる声かけができた時には称賛する。</p> <p>○最後までよく話を聞くように注意を向けさせる。</p> <p>☆A児が拗ねたときに、A児の気持ちを思いやった言葉かけや行動が見られた時には称賛する。</p> <p>☆落ち着いた気持ちでブロックの構成をわかりやすく伝えることができたときには称賛する。</p> <p>☆A児の取り組みを褒めるような言葉かけができたときには褒める。</p> <p>☆強い口調で話し始めたときには丁寧に優しく話すように助言する。</p> <p>◎相手の視点に立ってわかりやすい言葉で伝えることができたか。 (行動観察) 【6-(2)】</p> <p>◎相手を気遣い最後まで伝達遊びに取り組むことができたか。 (行動観察) 【6-(5)】 【3-(4)】</p>
<p>5 本時の学習について振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習で、自分が頑張ったことや友達が頑張ったことを発表する。</li> </ul>	<p>☆自分の言葉で今日の学習を振り返るように励ます。</p> <p>☆B児のよいところを見つけたら発言が出たら称賛する。</p> <p>○あいさつをしない様子が見られたら、終わりのあいさつをしっかりとできた</p>	<p>☆A児の言動を認める発言ができたなら称賛する。</p> <p>☆自分やA児の頑張りを素直に認める発言が出たときには共感し、褒めるようにする。</p> <p>○きちんとした姿勢で、あいさつするよう声をかける。</p>
<p>6 終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・背筋を伸ばしきちんとした姿勢になったら終わりの号</li> </ul>	<p>○あいさつをしない様子が見られたら、終わりのあいさつをしっかりとできた</p>	<p>○きちんとした姿勢で、あいさつするよう声をかける。</p>

令をかけるように  
促す。

ら終わりにすることを伝  
える。